

平成30年度 国東市：全国学力・学習状況調査結果（中学校：社会）

1 結果のポイント

中学校社会				
知識		活用		
	正答率	達成率	正答率	達成率
国東市	56.2	53.1	49.2	60.2
大分県	55.6	53.0	47.7	53.7
目標値	53.3		43.0	

問題の内容	正答率		目標値
	国東市	大分県	
地球の姿をとらえる	58.4	56.1	56.3
世界各地の人々の生活と環境	55.8	56.3	51.7
世界の諸地域	49.6	47.3	44.3
古墳時代まで	60.4	58.6	57.0
飛鳥時代～平安時代	49.8	52.3	48.0
中世の日本	59.8	59.8	56.3

領域	正答率		目標値
	国東市	大分県	
世界の地域構成	58.4	56.1	56.3
世界各地の人々の生活と環境	55.8	56.3	51.7
世界の諸地域	49.6	47.3	44.3
古代までの日本	55.1	55.5	52.5
中世の日本	59.8	59.8	56.3

観点	正答率		目標値
	国東市	大分県	
社会的な思考・判断・表現	49.1	49.1	45.8
資料活用の技能	56.7	53.9	51.3
社会的事象についての知識・理解	56.9	56.7	54.0

2 課題が見られた問題と指導の改善事項

大問2 （1）世界の各地の人々の生活と環境＜知識＞

- ①趣旨 世界の様々な気候帯や気候区について理解している
- ②解答類型と反応率

	国東市	大分県
1 ツンドラと回答しているもの	26.5	32.1
その他の解答	60.2	50.6
無回答	13.3	17.3

③正答について

説明文中の空欄に適した語句を答える問題であった。「このような地域を『ツンドラ』、「このような特徴が見られる気候を『ツンドラ』気候」と答えるものであり、前後の文章からも『ツンドラ』を導き出すことは、難しくない。ただ、この気候のように、歴史における〇〇文化、仏教の宗派、戦争後の講和条約等々…同時に複数の類似する名称を学ぶことは、社会の中では、地理、歴史、公民を問わず多い。その際、それぞれの特徴は、他と比較し区別することで明確になることが多い。そのためにも、学習者本人が区別できるように整理して学ぶことが大切である。

大問3 (1) 世界の諸地域<知識>

①趣旨 アジア州での農業生産について資料をもとに判断することができる。

②解答類型と反応率

	国東市	大分県
1 1と回答しているもの	47.1	36.3
2 2と回答しているもの	6.6	15.2
3 3と回答しているもの	13.3	14.4
◎4 4と回答しているもの	32.7	33.8
それ以外	0.0	0.0
無解答	0.0	0.3

③正答について

誤答が1. 2. 3に分散し、しかも正答を逆転している。アジア州には世界の人口の約6割の人々が住み、この人口を支えるために農業生産が盛んであること、世界の米の大部分がアジアで生産されていること、米や小麦の国別生産量では、人口の多い中国とインドが1位、2位であることを押さえさせることが大切である。また、東南アジアでは古くから稲作がおこなわれてきたこと、マレーシアやインドネシアなどでは、プランテーションにおける、天然ゴムや油やしなどの輸出用作物の生産が盛んであることについても確認させたい。

大問3 (3) 世界の諸地域<活用>

①趣旨 ヨーロッパ州における学習課題を解決するにあたり、複数の資料をもとに考察することができる。

②解答類型と反応率

	国東市	大分県
1 1と回答しているもの	20.9	17.3
2 2と回答しているもの	20.9	22.3
◎3 3と回答しているもの	31.6	33.4
4 4と回答しているもの	26.5	26.2
それ以外	0.0	0.0
無解答	0.0	0.7

③正答について

誤答が1. 2. 4に分散している。その1つの理由として、本問題が、「適切でないもの」を選択するようになっており、正解の3以外は、正しい内容になっていることから、問題文を正確に把握できず、「適切なもの」を選択した可能性がある。また、もう1つの理由は、複数の資料を組み合わせることにより見えてくる情報を表現する経験の不足があげられる。それぞれの資料が何を表しているかを読み取れるだけでなく、2つの資料を組み合わせることによって、何が読み取れるのかについても日頃から取り組んでおく必要がある。

大問6 (1) 中世の日本<知識>

①趣旨 承久の乱について判断することができる。

②解答類型と反応率

	国東市	大分県
1 1と回答しているもの	11.2	11.8
2 2と回答しているもの	32.1	37.9
◎3 3と回答しているもの	30.1	33.5
4 4と回答しているもの	25.0	16.1
その他の解答	0.5	0.0
無解答	1.0	0.8

③正答について

誤答が1. 2. 4に分散し、しかも正答を逆転している。承久の乱では、どのような経緯で朝廷と幕府が戦うことになったのかについて、朝廷側と幕府側それぞれの主張とその理由を考えさせ、議論させるなどして、理解を深めさせたい。

また、後鳥羽上皇が隠岐に流されたことから、幕府の支配力が西日本にも及んでいったことを読み取らせることが必要である。その際、承久の乱の前後で、守護・地頭配置の様子がどのように変わったのかについて、地図上で色分けさせるなどの指導の工夫も有効である。

大問7 (3) 世界の諸地域<活用>

①趣旨 北アメリカ州における医療事情について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。

②解答類型と反応率

	国東市	大分県
◎1 正答	10.2	13.1
△2 説明が不十分な場合	61.2	52.8
その他の解答	11.2	10.7
無解答	17.3	23.4

③正答について

正答が、10.2%と非常に低く、かつ大分県平均も下回っている。一方で、説明が不十分なものが県平均よりも9%近く高いことから、表現の正確性に欠けていることが伺われる。問題として問われているのは、「どのような不満を持つ人が、どのようなことをしているのか」であり、それにしただって、答えることが求められている。したがって、資料キ・クから「アメリカの医療費が高いこと」、また資料クから「メキシコの医療費が安い」こと、資料ケから「メキシコでアメリカとの国境付近に、アメリカ人向けの歯科医院がたくさんあること」を読み取り、「どのような不満を持つ人が、どのようなことをしているのか」の形式に合わせて回答することが求められる。

したがって、授業の中でも、単に複数の資料から読み取れることを自由に出し合うだけではなく、目的に応じた情報を取り出す活動も必要である。その中で、より簡潔な表現を求めたり、過不足なく表現することを求めたり、出された意見をより高めていったりする活動も大切となる。

3 改善のポイント（全体を通して）

（1）主体性をもった学習活動となるような学習過程をイメージする

具体的な事象を空間軸や時間軸、イメージの違いなどから比較したり、関連付けたりして、そこにある矛盾や隔たりを認識したり、地域の人や専門家との交流などをしたりする中で、課題を捉えさせ、解決に向けた見通しを持たせるなど、生徒の学びに向けた動機付けを行い、学習の終盤では振り返って表現を促し、次の課題につなげるなど、主体性をもった学習活動となるような学習過程をイメージする。

（2）情報の取り出しから加工、出力までの過程において具体的な支援・指導を行う

情報の取り出しや整理の方法、求める思考の類型等を明確にし、生徒が自分の考えを持てるように支援・指導する。また、他者との交流や図書などを使いながら課題の解決に向けて思考・判断・表現する機会を設け、多面的・多角的な考察、広い視野からの課題解決の構想、論理的な説明などの力を育む中で、思考の類型やその表現に適した言語等を具体的に使えるよう支援・指導する。

（3）個別の知識が関連付けられた知識になるような指導の工夫を行う

「なぜ」や「どのような」を考える学習の過程を通じて、個別の事実としての知識を相互に関連付けられた知識になるようにしていくことにより、学習内容の理解と個別の知識の定着を図るとともに、さまざまな場面で活用できる概念的なものとしてできるよう支援・指導する。

【参考】

「社会の勉強が好きですか?」「社会の勉強が分かりますか?」

	国東市	大分県	全国
社会の勉強は好きですか（肯定的評価）	61.2	56.8	60.0
社会の勉強はわかりますか（肯定的評価）	67.3	64.5	64.3